

法律学科 到達目標(自学科ホスト科目のみ)

※修得できる能力との関連性 ◎:強く関連 ○:関連 △:やや関連

科目区分	授業科目	知識	技能	思考・判断・表現力	コミュニケーション	自律的行動力	到達目標				
							DP1 知識	DP2 技能	DP3 思考・判断・表現力	DP4 コミュニケーション力	DP5 自律的行動力
入門	法学総論	○	○	◎			法学の初歩的な知識を身につけている	法学的アプローチを行うための基礎的な技法を身につけている	社会的な問題に対し、法的に考え判断することができる		
	日本国憲法原論	○	○	◎			憲法学および近代立憲主義に関する基礎的な知識を身につけている	憲法学および近代立憲主義を歴史的または社会的問題と結びつける基礎的な技法を身につけている	憲法学および近代立憲主義に関する課題を発見し、法的または政治学的思考に基づいた判断を行うことができる		
	民法入門	○	○	◎			民法学の全体像に関する基礎的な知識を身につけている	民法学を学ぶための基礎的な技法を身につけている	民法学に関する基礎的な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
専	現代法曹論0		○		○	◎		法学部卒業生としての強みを活かしたキャリア形成に必要な情報を収集・分析することができる		他者と協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	法的問題への関心とキャリア意識を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている
	現代法曹論 I		○		○	◎		法曹・準法曹の実務の理解に必要な情報を収集・分析することができる		法律専門職の役割を学ぶことを通じて、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	法律専門職の役割を学ぶことを通じて、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている
	現代法曹論 II		○		○	◎		法曹・準法曹の実務の理解に必要な基礎的な技法を身につけている		法律専門職の役割を学ぶことを通じて、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	法律専門職の役割を学ぶことを通じて、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている
	法律実務論 I		○		○	◎		法曹・準法曹の実務の理解に必要な情報を収集・分析することができる		法律専門職の実務内容を学ぶことを通じて、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	法律専門職の実務内容を学ぶことを通じて、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている
	法律実務論 II		○		○	◎		法曹・準法曹の実務の理解に必要な基礎的な技法を身につけている		法律専門職の実務内容を学ぶことを通じて、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	法律専門職の実務内容を学ぶことを通じて、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている
	法学基礎演習 I		○		◎	○		法的な問題点を抽出し、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている		他の参加者と議論をしながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	法的問題への関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている
	法学基礎演習 II		○		◎	○		法的な問題点を抽出し、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている		他の参加者と議論をしながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	法的問題への関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている
	外国文献研究 I		○	○	◎			外国法について調べるための基礎的な技法を身につけている	外国法を参照した思考・判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	
	外国文献研究 II		○	○	◎			外国法について調べるための基礎的な技法を身につけている	外国法を参照した思考・判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	
	法哲学専門演習 I		○	○	◎			法哲学上の問題の解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するための基礎的な技法を身につけている	法哲学に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して法哲学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	
	法哲学専門演習 II		○	○	◎			法哲学上の問題の解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するための基礎的な技法を身につけている	法哲学に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して法哲学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	
	法哲学専門演習 III		○	○	◎			法哲学上の問題の解決を図るための基礎的な技法を身につけている	法哲学的思考に基づいた判断のプロセスや結論を、口頭や文書で論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら、協働して法哲学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	
	法哲学専門演習 IV		○	○	◎			法哲学上の問題の解決を図るための基礎的な技法を身につけている	法哲学的思考に基づいた判断のプロセスや結論を、口頭や文書で論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら、協働して法哲学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている	
	法社会学専門演習 I		○	○	◎			法社会学に関連した文献資料を読解・分析していくための基本的な技能を身につけている	法社会学的な分析を通じて課題を発見し、それを表現することができる	他の参加者と議論をしながら協働して課題の共有と解決策の考案に向けて取り組む姿勢を身につけている	
	法社会学専門演習 II		○	○	◎			法社会学に関連した文献資料を収集・整理していくための技能を身につけている	法社会学的な分析を通じて課題を発見し、それを論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら協働して課題の共有と解決策の考案に向けて、異なる立場を意識しつつ取り組む姿勢を身につけている	
	法社会学専門演習 III		○	○	◎			法社会学に関連した文献資料を主体的に収集・整理していく技能を身につけている	法社会学的な分析を通じて自ら思考し課題を発見するとともに、それを論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら協働して課題の共有と解決策の考案に向けて、自説を批判的に吟味しつつ取り組む姿勢を身につけている	
法社会学専門演習 IV		○	○	◎			法社会学に関連した文献資料を主体的に収集・整理し、分析していく技能を身につけている	法社会学的な分析を通じて自ら思考し課題を発見するとともに、それを論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら協働して課題の共有と解決策の考案・さらなる問題点の抽出に向けて取り組む姿勢を身につけている		
門	憲法専門演習 I		○	○	◎		憲法学上の問題の解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するための基礎的な技法を身につけている	憲法学に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して憲法学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
	憲法専門演習 II		○	○	◎		憲法学上の問題の解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するための基礎的な技法を身につけている	憲法学に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して憲法学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
	憲法専門演習 III		○	○	◎		憲法学上の問題の解決を図るための基礎的な技法を身につけている	憲法的思考に基づいた判断のプロセスや結論を、口頭や文書で論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら、協働して憲法学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
	憲法専門演習 IV		○	○	◎		憲法学上の問題の解決を図るための基礎的な技法を身につけている	憲法的思考に基づいた判断のプロセスや結論を、口頭や文書で論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら、協働して憲法学上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
	行政法専門演習 I		○	○	◎		行政法学上の問題の解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するための基礎的な技法を身につけている	行政法学に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して行政法学的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
	行政法専門演習 II		○	○	◎		行政法学上の問題の解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するための基礎的な技法を身につけている	行政法学に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して行政法学的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
	行政法専門演習 III		○	○	◎		行政法規を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	行政法学的思考に基づいた判断のプロセスや結論を口頭や文書で論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら、協働して行政法学的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
	行政法専門演習 IV		○	○	◎		行政法規を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	行政法学的思考に基づいた判断のプロセスや結論を口頭や文書で論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら、協働して行政法学的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		
教	刑法専門演習 I		○	○	◎		刑法学上の問題を解決するために必要な文献資料を分析・整理するための基本的な技能を習得している	刑法学上の問題を刑法解釈論に基づいて論理的に思考・判断することができる	他の参加者との議論の中で、それぞれの立場を尊重しつつ、他者の見解を分析的に理解する能力を習得している		
	刑法専門演習 II		○	○	◎		刑法学上の問題を解決するために必要な判例・裁判例を分析・整理するための基本的な技能を習得している	刑法学上の問題を判例に基づいて帰納的に思考・判断することができる	他の参加者との議論の中で、他者の立場に立ってその考え方を理解する姿勢を習得している		
	刑法専門演習 III		○	○	◎		刑法学上の問題を自ら発見し、分析・整理するための基本的な技能を習得している	身近な事象の中から刑法学に関する課題を発見することができる	他の参加者との議論の中で、自分と反対の立場にたって、自分の考えを批判的に検証する姿勢を身につけている		
	刑法専門演習 IV		○	○	◎		刑法学上の問題に対する自分の思考を論理的に表現するための基本的な技能を習得している	刑法学上の問題に対する自分の思考・判断を論理的に表現することができる	他の参加者と議論をしながら、協働して刑法学の問題の解決に取り組む姿勢を身につけている		
	刑事訴訟法専門演習 I		○	○	◎		刑事訴訟法上の問題の解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するための基礎的な技法を身につけている	刑事訴訟法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる	他の参加者と議論をしながら、協働して刑事訴訟法上の問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている		

法律学科 到達目標入力様式(自学科ホスト科目のみ)

※修得できる能力との関連性 ◎:強く関連 ○:関連 △:やや関連

科目区分	授業科目	知識	技能	思考・判断・表現力	コミュニケーション	自律的行動力	到達目標				
							DP1 知識	DP2 技能	DP3 思考・判断・表現力	DP4 コミュニケーション力	DP5 自律的行動力
理論法学(4)	法思想史	○	○	◎			法思想史に関する知識を体系的に身につけている	法思想史の理解に必要な情報を収集・分析・整理することができる	法思想史の理解を通じて課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	法社会学	○	○	◎			法社会学に関する基礎的な知見を身につけている	法社会学的分析に求められる基本的な情報を収集・整理することができる	法社会学の基礎的な知見を通じて課題を発見し、解決策や代替案を表現できる		
	外国法	○	○	◎			外国法に関する知識を体系的に身につけている	外国法の理解に必要な情報を収集・分析・整理することができる	外国法の理解を通じて課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	法史学	○	○	◎			法史学に関する知識を体系的に身につけている	法史学の理解に必要な情報を収集・分析・整理することができる	法史学の理解を通じて課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	法哲学	○	○	◎			法哲学に関する知識を体系的に身につけている	法哲学の理解に必要な情報を収集・分析・整理することができる	法哲学の理解を通じて課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	紛争処理論	○	○	◎			民事紛争処理に関する基礎的な知識を身につけている	民事紛争処理のプロセスを分析するための基礎的な技法を身につけている	民事紛争処理のあり方について課題を発見し、解決策や代替案を表現できる		
	比較法文化論	○	○	◎			比較法文化に関する知識を体系的に身につけている	法文化を認識・比較するための基礎的な技法を身につけている	比較法文化に関する課題を発見し、それに対する判断を表現する基本的な能力を身につけている		
公法	憲法人権論	◎	○	○			憲法学の人権論に関する知識を体系的に身につけている	憲法学の人権論に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	憲法学の人権論に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	憲法機構論	◎	○	○			憲法学の統治機構論に関する知識を体系的に身につけている	憲法学の統治機構論に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	憲法学の統治機構論に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	憲法訴訟論	◎	○	○			憲法訴訟または憲法判例に関する実践的な知識を身につけている	憲法訴訟または憲法判例において法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	憲法訴訟または憲法判例における課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	行政法総論	◎	○	○			行政法学の作用法および組織法に関する知識を体系的に身につけている	行政法学の作用法および組織法に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	行政法学の作用法および組織法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	行政争訟法	◎	○	○			行政法学の救済法のうち行政争訟に関する知識を体系的に身につけている	行政法学の救済法のうち行政争訟に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	行政法学の救済法のうち行政争訟に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	国家補償法	◎	○	○			行政法学の救済法のうち国家補償に関する知識を体系的に身につけている	行政法学の救済法のうち国家補償に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	行政法学の救済法のうち国家補償に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	地方自治法	◎	○	○			地方自治法に関する知識を体系的に身につけている	地方自治に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	地方自治法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
刑事法	刑法総論	◎	○	○			刑法総論に関する基本的な知識を体系的に習得している	刑法総論に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を習得している	刑法総論に関する法的問題を発見し、その問題に対する判断を表現する基本的な能力を習得している		
	刑法各論Ⅰ	◎	○	○			刑法各論に関する基本的な知識を体系的に習得している	刑法各論に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を習得している	刑法各論に関する法的問題を発見し、その問題に対する判断を表現する基本的な能力を習得している		
	刑法各論Ⅱ	◎	○	○			刑法各論に関する基本的な知識を体系的に習得している	刑法各論に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を習得している	刑法各論に関する法的問題を発見し、その問題に対する判断を表現する基本的な能力を習得している		
	刑事司法政策Ⅰ	◎	○	○			刑事司法政策に関する基礎的な知識を体系的に身につけている	刑事司法政策の理解に必要な情報を収集・分析・整理することができる	刑事司法政策の課題について、法的思考に基づき、自己の見解を論理的に表現することができる		
	刑事司法政策Ⅱ	◎	○	○			刑事司法政策に関する基礎的な知識を体系的に身につけている	刑事司法政策の理解に必要な情報を収集・分析・整理することができる	刑事司法政策の課題について、法的思考に基づき、自己の見解を論理的に表現することができる		
	刑事訴訟法Ⅰ	◎	○	○			刑事訴訟法(訴訟構造、捜査手続)に関する知識を体系的に身につけている	刑事訴訟法(訴訟構造、捜査手続)に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を習得している	刑事訴訟法(訴訟構造、捜査手続)に関する法的問題を発見し、その問題に対する判断を表現する基本的な能力を習得している		
	刑事訴訟法Ⅱ	◎	○	○			刑事訴訟法学の公判手続、執行手続に関する知識を体系的に身につけている	刑事訴訟法(公判手続、執行手続)に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を習得している	刑事訴訟法(公判手続、執行手続)に関する法的問題を発見し、その問題に対する判断を表現する基本的な能力を習得している		
犯罪学	◎	○	○			犯罪学に関する基礎的な知識を体系的に身につけている	犯罪学理論の理解に必要な情報を収集・分析することができる	犯罪学の課題について、犯罪学理論に基づき、自己の見解を論理的に表現することができる			
社会法	社会法総論	○	◎	○			社会法の意義を理解し、労働法及び社会保障法に関する基礎的な知識を身につけている	社会法(特に労働法及び社会保障法)を学ぶための基礎的な技能を身につけている	社会法学(特に労働法及び社会保障法)に関する基礎的な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	雇用関係法	○	◎	○			雇用関係法領域に関する知識を体系的に身につけている	雇用関係法領域における課題の解決に必要な法令を解釈・適用するための基礎的な技能を身につけている	雇用関係法領域における課題に対し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	労使関係法	○	◎	○			労使関係法領域に関する知識を体系的に身につけている	労使関係法領域における課題の解決に必要な法令を解釈・適用するための基礎的な技能を身につけている	労使関係法領域における課題に対し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	社会サービス法	○	◎	○			社会サービス法領域に関する知識を体系的に身につけている	社会サービス法領域における課題の解決に必要な法令を解釈・適用するための基礎的な技能を身につけている	社会サービス法領域における課題に対し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	所得保障法	○	◎	○			所得保障法領域に関する知識を体系的に身につけている	所得保障法領域における課題の解決に必要な法令を解釈・適用するための基礎的な技能を身につけている	所得保障法領域における課題に対し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	独占禁止法	○	◎	○			独占禁止法に関する知識を体系的に身につけている	独占禁止に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	独占禁止法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	知的財産法	○	◎	○			知的財産法に関する知識を体系的に身につけている	知的財産に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	知的財産法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
環境法【環】	○	◎	○			環境法に関する知識を体系的に身につけている	環境に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	環境法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる			
社会法の現代的展開	○	◎	○			社会法の現代的問題に関する知識を体系的に身につけている	社会法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	社会法に関する現代的課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる			
国際関係法	国際法Ⅰ	○	◎	○			国際法に関する知識を体系的に身につけている	国際法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	国際法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	国際法Ⅱ	○	◎	○			国際法に関する知識を体系的に身につけている	国際法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	国際法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	国際私法	○	◎	○			国際私法に関する知識を体系的に身につけている	国際私法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	国際私法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	国際取引法	○	◎	○			国際取引法に関する知識を体系的に身につけている	国際取引法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	国際取引法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	現代国際関係法	○	◎	○			現代の国際関係法に関する知識を体系的に身につけている	現代の国際関係法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	現代の国際関係法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		

法律学科 到達目標入力様式(自学科ホスト科目のみ)

※修得できる能力との関連性 ◎:強く関連 ○:関連 △:やや関連

科目区分	授業科目	知識	技能	思考・判断・表現力	コミュニケーション	自律的行動力	到達目標				
							DP1 知識	DP2 技能	DP3 思考・判断・表現力	DP4 コミュニケーション力	DP5 自律的行動力
民事法	民法総則	◎	○	○			民法学の民法総則に関する知識を体系的に身につけている	民法学の民法総則に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の民法総則に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	物権法	◎	○	○			民法学の物権法に関する知識を体系的に身につけている	民法学の物権法に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の物権法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	担保物権法	◎	○	○			民法学の担保物権法に関する知識を体系的に身につけている	民法学の担保物権法に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の担保物権法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	債権総論	◎	○	○			民法学の債権総論に関する知識を体系的に身につけている	民法学の債権総論に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の債権総論に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	債権各論 I	◎	○	○			民法学の契約に関する知識を体系的に身につけている	民法学の契約に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の契約に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	債権各論 II	◎	○	○			民法学の主に法定債権に関する知識を体系的に身につけている	民法学の主に法定債権に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の主に法定債権に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	親族法	◎	○	○			民法学の親族法に関する知識を体系的に身につけている	民法学の親族法に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の親族法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	相続法	◎	○	○			民法学の相続法に関する知識を体系的に身につけている	民法学の相続法に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民法学の相続法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	民事訴訟法 I	◎	○	○			民事訴訟法に関する知識を体系的に身につけている	民事訴訟法に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民事訴訟法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	民事訴訟法 II	◎	○	○			民事訴訟法に関する知識を体系的に身につけている	民事訴訟法に関する法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	民事訴訟法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
倒産処理法	◎	○	○			倒産処理法に関する知識を体系的に身につけている	倒産処理法に関する知識を体系的に身につけている	倒産処理法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる			
商事法	企業法総論	○	◎	○			企業法に関する基礎的な知識を身につけている	企業法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	企業法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	会社法	○	◎	○			会社法に関する基礎的な知識を身につけている	会社法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	会社法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	企業取引法 I	○	◎	○			保険法に関する基礎的な知識を身につけている	保険法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	保険法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	企業取引法 II	○	◎	○			支払決済法に関する基礎的な知識を身につけている	支払決済法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	支払決済法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	金融商品取引法	○	◎	○			金融商品取引法に関する基礎的な知識を身につけている	金融商品取引法を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている	金融商品取引法に関する課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		
	企業法の現代的展開	○	◎	○			企業法の現代的な課題を理解するための知識を身につけている	企業法の現代的・応用的な分野における法令の解釈・適用の基礎的な技法を身につけている	企業法の現代的な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行うことができる		